MAKING THE IMAGE INTELLIGENT

DIGITAL MEDIA PROFESSIONALS

2026年3月期　第1四半期

決算補足説明資料

～2030年3月期売上高80億円に向けた変革期、戦略的投資を加速～

株式会社ディジタルメディアプロフェッショナル

2025年8月12日

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

目次

会社概要 …… 3
DMPのPurpose …… 4
中期ビジョン（三位一体の成長戦略） …… 5
成長加速に向けた戦略的進捗 …… 6
2026年3月期 第1四半期決算ハイライト
業績ハイライト …… 7
損益計算書 …… 8
事業別／分野別売上高 …… 9
貸借対照表 …… 10
2026年3月期 通期業績予想 …… 11

Copyright (C) Digital Media Professionals Inc. All Rights Reserved.

会社概要

世界有数のグラフィックスIPベンダーとしての創業以来の経験・知見を活かし、近年は**アルゴリズム・ソフトウエアからハードウエア**、並びに**エッジからクラウド**に亘る一貫したAIサービスの提供により、お客様や社会の課題解決に貢献しています

会社名	株式会社ディジタルメディアプロフェッショナル（DMP）
設立	2002年7月 （2011年6月東証マザーズ上場, 2022年4月東証グロース移行）
所在地	東京都中野区
代表者	代表取締役会長兼社長CEO 山本 達夫
資本金	1,838百万円
連結従業員数	60名（2025年4月1日現在）
特許数	35件
連結子会社	Digital Media Professionals Vietnam Company Limited

IPコアライセンス事業

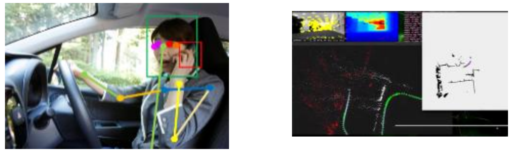
・AI/GPU IPコアライセンス
・AIソフトウエアライセンス

製品事業

・アミューズメント市場向け画像処理半導体
・エッジAI半導体
・協働ロボット向けビジョンシステム
・FA製品（AMR本体/コンポーネント）
・モジュール

プロフェッショナルサービス事業

・AIアルゴリズム、コンピュータビジョンソフトウエア受託開発
・FPGA/ボード受託開発
・ロボティクス・セーフティに係る顧客製品・サービス開発サポート



Copyright (C) Digital Media Professionals Inc. All Rights Reserved.

DMPのPurpose

DIGITAL MEDIA PROFESSIONALS

Making the Image Intelligent

画像を知能化する

画像インテリジェンスの力で現実世界の問題を解決し、ステークホルダーに価値をもたらす
革新的な製品とサービスを創造する

To develop cutting-edge products and services that leverage image intelligence
to address practical challenges and deliver value to our stakeholders.

Copyright (C) Digital Media Professionals Inc. All Rights Reserved.

DIGITAL MEDIA PROFESSIONALS

成長分野への展開：エッジAI半導体事業

コア事業で培った強み、ノウハウを活かした、
新たな分野での半導体ビジネスを展開
モビリティ、スマートファクトリー、ドローン、
スマートカメラなどの高成長市場で採用拡大

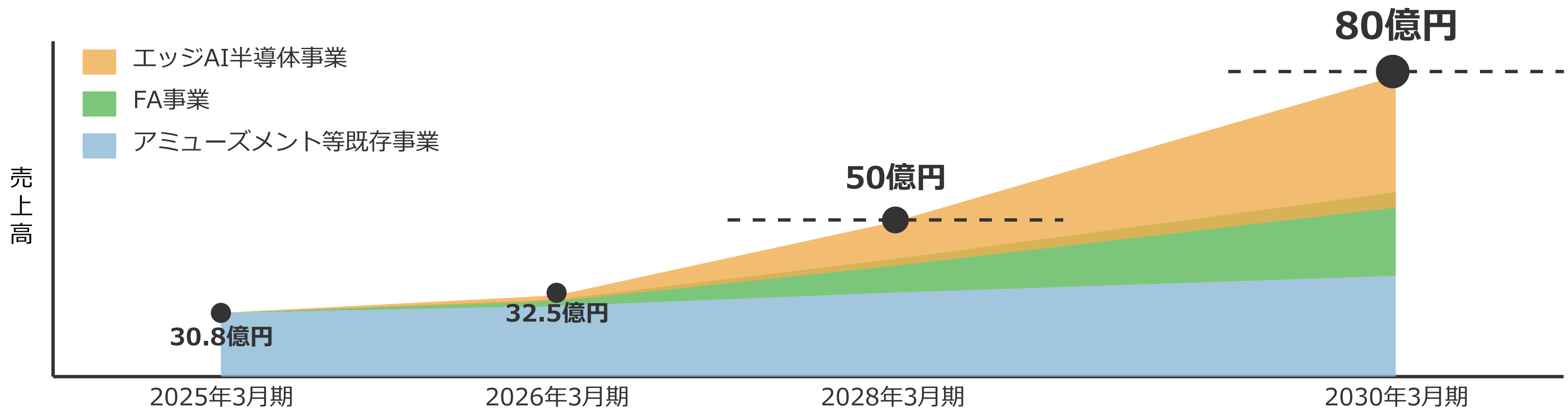
中長期的な企業価値向上

新規事業機会の獲得：FA事業

当社の更なる成長実現のため、新事業領域に取り組む
Cambrian Vison Systemで築いた業界ネットワークを
生かし、ロボティクス、ファクトリーオートメーション、
物流自動化のさらなるスマート化により、日本の社会
課題解決に貢献

コア事業の更なる成長：アミューズメント事業

周辺ビジネスの取り込みによる付加価値増大とコスト低減などによる利益の強化



Copyright (C) Digital Media Professionals Inc. All Rights Reserved.

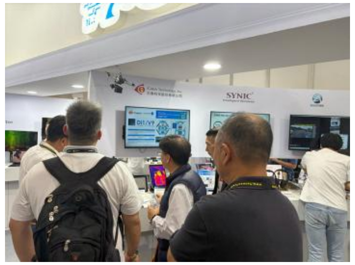
成長加速に向けた戦略的進捗

中期的な2本の成長エンジンの収益化基盤構築に向け、戦略的投資・リソース傾注

エッジAI半導体事業

- 次世代エッジAI半導体「Di1」をComputex Taipei 2025で世界初公開

Di1



Computex展示の様子

- 2026年3月期第4四半期の量産出荷に向けた準備は順調
- エコシステムも活用し、監視カメラ、ドローン等の各種アプリケーション市場での拡販活動を展開中
  ドローン分野では、具体的な開発が進捗
- 9月10日にEdgeAIソリューションセミナーを開催、「Di1」によるリアルタイム画像認識・物体検出のデモンストレーションも実施予定

FA事業

- 2025年4月に事業開始
- 自律走行ロボット（AMR）メーカーにAMR向けコンポーネントを納入するなど、立ち上がりは順調
- 全国有力AGV/AMRメーカーにキャラバン実施
- 主にAMRメーカー向けに、AMR本体、コンポーネント、ソフトウエア等の1千万円規模の高確度商談が複数進捗

AMR本体

コントローラー

LiDAR

モーター＋ドライバー

フリートマネジメントソフトウエア

ロボティクス・セーフティ分野

- 生成AI技術を活用した先進安全システムの社会実装の第一弾として、西尾レントオールとの協業で、迷惑スケートボーダーを検知する「AI スケートボーダー検知システム」を開発
  2025年10月に販売開始予定

AIスケートボーダー検知システムイメージ

- Cambrianビジョンシステム
  各種展示会、セミナーに参加
  競合他社のビジョンシステムでは認識できないものが見えると高評価
  ワイヤーハーネスの配策等高度・複雑な動作が自動車メーカーの注目を浴びる

Copyright (C) Digital Media Professionals Inc. All Rights Reserved.

2026年3月期 第1四半期 - 業績ハイライト

- 戦略的開発投資を実行し、事業構造転換を加速
- エッジAI半導体「Di1」の開発・拡販、FA事業の滑り出しは順調
- パチスロの保通協の検定試験適合率が低調に推移していることにより、アミューズメント市場が一時的に停滞し、「RS1」の量産出荷も弱含みで推移。下期にかけて有力機種投入により、回復見込

全社	事業別売上高	分野別売上高
売上高	IPコアライセンス	ロボティクス・セーフティ
402百万円（YoY※ △46%）	27百万円（YoY +31%）	26百万円（YoY +75%）
経常利益	製品	アミューズメント
△240百万円（前年同期 63百万円 ）	373百万円（YoY △48%）	354百万円（YoY △50%）
	プロフェッショナルサービス	その他
	1百万円（YoY △80%）	22百万円（YoY +45%）

※ YoY (Year on Year)：前年同期比

Copyright (C) Digital Media Professionals Inc. All Rights Reserved.

2026年3月期 第1四半期決算ハイライト - 損益計算書

アミューズメント市場の一時的停滞と戦略的半導体開発投資により減収減益

（単位：百万円）	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	増減額
売上高	740	402	△337
営業利益	64	△241	△306
経常利益	63	△240	△303
親会社株主に帰属する四半期純利益	59	△240	△299

- 戦略的投資として、エッジAI半導体「Di1」の開発費134百万円を支出
- 保通協の検定試験適合率の低調推移に伴うアミューズメント市場の一時的停滞により、画像処理半導体「RS1」の出荷は前年同期と比較して半減。売上高は45.6%減収
- 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比減益

Copyright (C) Digital Media Professionals Inc. All Rights Reserved.

2026年3月期 第1四半期決算ハイライト - 事業／分野別売上高

●事業別売上高

IPコアライセンス事業　27百万円　前年同期　21百万円

- ディジタル機器向けAI/GPUランニングロイヤリティ、セーフティ分野/ロボティクス分野におけるリカーリング収益、メンテナンス・サポート収入等を計上

製品事業　373百万円　前年同期 711百万円

- RS1の量産出荷、Cambrianビジョンシステム等の売上を計上
- アミューズメント市場の一時的停滞により、RS1の量産出荷は前年同期比半減。下期にかけて回復を見込む

ﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾙｻｰﾋﾞｽ事業　1百万円　前年同期　7百万円

- AMR向け受託開発サービス収入を計上
- 半導体製造設備向け等、ロボティクス・セーフティ分野は第2四半期以降拡大見込

●分野別売上高

ロボティクス・セーフティ分野※ 26百万円　前年同期　15百万円

- ドライブレコーダー関連のリカーリング収益（ランニングロイヤリティ、サブスクリプションフィー）、メンテナンスサポート収入、Cambrianビジョンシステム等の製品売上、並びにAMR向けプロフェッショナルサービス売上等を計上

アミューズメント分野　354百万円　前年同期 710百万円

- 主にRS1の量産出荷売上を計上

その他分野　22百万円　前年同期　15百万円

- ディジタル機器向けAI/GPUランニングロイヤリティ、メンテナンスサポート収入等を計上

※ 当分野は、2025年3月期までは「セーフティ分野」、「ロボティクス分野」に分けていたが、協働ロボットやAMRを例に見てもロボティクス技術の進化と社会実装が進むほど、人・モノとの接触やそのリスクを検知するセーフティ技術が重要となっていることに加え、当社の事業方向性も踏まえ、2026年3月期より両分野を統合し、「ロボティクス・セーフティ分野」と呼称することとした

Copyright (C) Digital Media Professionals Inc. All Rights Reserved.

DIGITAL MEDIA PROFESSIONALS

自己資本比率は90.2%と高水準を維持

～戦略的投資を可能にする強固な財務体質～

（単位：百万円）	2025年3月末	2025年6月末	増減額	主な増減要因
流動資産	3,297	2,929	△368	売掛金及び契約資産 △245　現預金 △143
固定資産	794	806	+11	無形固定資産 +16
資産合計	**4,092**	**3,735**	**△357**	
流動負債	461	346	△115	買掛金 △63 未払金 △32　未払法人税等△12
固定負債	19	19	+0	
負債合計	480	365	△115	
純資産合計	**3,611**	**3,369**	**△241**	利益剰余金 △240
負債・純資産合計	**4,092**	**3,735**	**△357**	

Copyright (C) Digital Media Professionals Inc. All Rights Reserved.

2026年3月期 通期業績予想

5月13日公表の通期業績予想に変更なし

～2026年3月期は将来の成長に向けた攻めの戦略的投資を実行～

（単位：百万円）	2025年3月期 通期実績	2026年3月期	
		通期予想	増減率
売上高	3,077	**3,250**	+5.6%
営業利益	265	**20**	△92.5%
経常利益	271	**25**	△90.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	157	**20**	△87.3%

- 第１四半期は、特にパチスロの保通協等による検定試験の適合率が低調に推移していることにより「RS1」の量産出荷も一時的に弱含みも、遊技機メーカーの有力な新機種の出荷が控えていることから、下期にかけて量産出荷の回復を見込む
- 第3四半期に「Di1」の戦略的開発投資の残りUS$100万ドルを計上見込
- 中期的には、アミューズメント市場の更なる取り込みに加え、エッジAI半導体事業とFA事業の2本の成長エンジンにより、収益拡大、企業価値向上を目指す

Copyright (C) Digital Media Professionals Inc. All Rights Reserved.

＜お問い合わせ先＞

株式会社ディジタルメディアプロフェッショナル 経営企画部

TEL:03-6454-0450

URL: https://www.dmprof.com/jp/ir/

- 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動することがあります。従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。
- 本資料は、弊社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、弊社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。本資料に全面的に依拠した投資等の判断は差し控え願います。

Copyright (C) Digital Media Professionals Inc. All Rights Reserved.